

2021 年度電子情報通信学会業績賞受賞業績

【選奨規程第 9 条（イ）号】

電子工学及び情報通信に関する新しい発明、理論、実験、手法などの基礎的研究で、その成果の学問分野への貢献が明確であるもの。

（業績の 50 音順・敬称略）

業 績	貢 献 者（所 属）
限定方向に陰解法を用いた高並列・分散処理型三次元電磁界解析と設計最適化手法	浅井 秀樹（静岡大） 海野 樹（東芝メモリ）
二次元プラズモンの共鳴現象を用いたテラヘルツ光源・検出素子の先駆的研究	尾辻 泰一（東北大）
複素および四元数ニューラルネットワークに関する先駆的研究	廣瀬 明（東 大）

計 3 件

【選奨規程第 9 条（ロ）号】

電子工学及び情報通信に関する新しい機器、又は方式の開発、改良、国際標準化でその効果が顕著であり、近年その業績が明確になったもの。

（業績の 50 音順・敬称略）

業 績	貢 献 者（所 属）
デジタルコヒーレント通信用狭線幅波長可変光源の研究開発と実用化	向原 智一（古河電工） 木村 俊雄（古河電工） 黒部 立郎（古河電工）
ネットワーク連動型モバイル端末トラヒック制御技術の開発	中村 元（KDDI 総合研究所） 岸 洋司（KDDI 総合研究所） 北原 武（KDDI 総合研究所）
フレキシブルディスプレイの先駆的研究	藤掛 英夫（東北大）

計 3 件

以上